

留学先大学：BESIGN The Sustainable Design School

氏名：篠田泰成



【はじめに】

ここではフランス生活の現状について書きます。

【フランス生活について①】

私は南仏のニースという都市に留学しています。地中海に広がるビーチが有名で、ヨーロッパ有数のバカンスが楽しめる場所です。観光地として栄えているので、英語が話せる人も比較的多い地域です。しかし、都市部を離れると英語を話す人口は極端に減少します。特に、30代を超える年齢層だとほとんど英語はできません。しかし、生活する上で困ることはあまりありません。中規模以上のスーパーや交通機関のチケット購入、SIMの購入など、大抵の場合は機械化されています。それらには言語選択に機能がついているので、英語を選択すれば問題ありません。ただ、逆にそれ以外の店舗（ベーカリーや個人経営店舗など）はだいたいフランス語のみの対応です。それでもジェスチャーで注文して、お金を差し出せばなんとか買い物をすることはできます（私は怖いのであまりしませんが）

【フランス生活について②】

電車についてです。交通機関は主に電車（長距離）、バス（中・近距離）、トラム（中・近距離）用の3種類があります。やはり遅延は日常茶飯事です。しかし、前述したようにチケット（切符）の購入は機械ですし、だいたい人の流れに沿っていけば問題なく利用できます。また、ニースは比較的大きな都市ですので、検索すれば大抵のことは日本語の記事で見つかります。

次にストライキです。これは本当にあります。ただし、事前に予告してからストライキを起こすので、

予め対策することが可能です。私は口コミで「明日ストライキがあるから登校気をつけてね」と教えてもらいました。こういうときのためにも現地の友人を作っておくことは大切です。結局私は別の友人に頼んで車で送ってもらいました。

最後に人間関係について。これは来月もっと詳しく書きますが、少しだけ触れておきます。まず、大前提としてニースではアジア人差別は全くありません。逆にアジア人だから人が話しかけてくれるというパターンがあります。というのも、アジア人=英語ができると思われて、観光客から道を尋ねられたり、駅で質問されたりします。私にとっては英語の練習になるいい機会です。また、学校の同級生も積極的にサポートしてくれます。対面で話すのが怖かったらメッセージでもいいと思います。

留学生×アジア人という最も弱い立場ですから、みなさんととても優しくしてくれます。

【住居について】

私はニース駅から5分のホームステイを選択しました。留学先の学校から一人暮らしのアパートや学生寮のおすすめがたくさん紹介されますが、結局自分でネットで見つけたホームステイにしました。ホストマザーが日本人という要因が決めてでした。家賃が月に500ユーロ（光熱費等込）、夕飯は一回5ユーロです。朝食は自由に家にあるものを食べてよく、身の回りの世話（掃除・洗濯など）もやってもらえます。夕食は外で食べるより遥かに安く、なにより留学にかかるあらゆることを相談できることが何よりの強みです。学校からは20分～30分ほどかかりますが、学校が田舎で家が都会という位置関係にあるので不便を感じることはありません。

【お金について】

お金についてです。私はフランスで銀行口座の開設はしていません。日本の銀行講座に預けてあるお金にくくりつけたVISAカード（クレジットカードとキャッシュカードが一体化されたもの）で基本的な買い物をしています。店によっては現金決済のみの場所もあるのかもしれませんが私はまだ見たことがありません。また、同じカードで現金の引き出しもできます。フランスには街のいたるところにATMがあるので、そこで日本の口座（YEN）からその瞬間の為替レートで変換されフランスのお金（EUR）で引き出すことができます。私の銀行は手数料がたったの110円しかかかりません。

【終わりに】

次回は学校と語学について書こうと思います。
また来月の報告書を楽しみにしてください。

質問やリクエスト等あれば気軽にどうぞ！！

（ネタ切れ対策です笑）

